

三ツ星ベルトのポリマーセメント系塗膜防水材

ネオ・コート PX



人を想い、
地球を想う

三ツ星ベルト株式会社



三ツ星ベルトのポリマーセメント系塗膜防水材料

ネオ・コート PX

特 長

防水性

- 乾燥後の皮膜は防水性にすぐれ、シームレスの防水層を形成します。
- 高い伸び性能を有しているため、下地追従性にすぐれています。
- 塗膜物性にもすぐれており、日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)」に適合します。

施工性

- 混和液と粉体を混合するだけで簡単に施工できます。
- 塗布作業は刷毛やコテで簡単に塗布できるため、専用の道具は必要ありません。
- 湿潤面への施工も可能であり、工期の短縮が図れます。

安全性

- 水系材料なので、火気や有機溶剤を使用せず、屋内の作業でも安心して施工できます。
- 厚生労働省が制定する有害物質(特定化学物質)は含有していません。

適用範囲

- ☐ ベランダ、ひさし、外部廊下など
- ☐ 浴室、厨房、トイレなどの室内
- ☐ 各種防水層の構造まわりの防水

*ALCパネルなどの板状下地には適用できません。

日本建築学会「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)」

●標準仕様

仕様	Aタイプ			Bタイプ
	PA-1仕様 使用量 1.5 (kg/m ²) 平均厚み 0.8 (mm)	PA-2仕様 使用量 2.1 (kg/m ²) 平均厚み 1.1 (mm)	PA-3仕様 使用量 3.0 (kg/m ²) 平均厚み 1.6 (mm)	PB-1仕様 使用量 2.5 (kg/m ²) 平均厚み 1.1 (mm)
工程1	プライマー塗り 0.2 (kg/m ²)	プライマー塗り 0.2 (kg/m ²)	プライマー塗り 0.2 (kg/m ²)	プライマー塗り 0.2 (kg/m ²)
工程2	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 0.8 (kg/m ²)	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 1.2 (kg/m ²) 防水用補強布張り	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 1.2 (kg/m ²) 防水用補強布張り	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Bタイプ 1.5 (kg/m ²)
工程3	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 0.7 (kg/m ²)	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 0.9 (kg/m ²)	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 0.9 (kg/m ²)	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Bタイプ 1.0 (kg/m ²)
工程4	—	—	ポリマーセメント系 塗膜防水材塗り Aタイプ 0.9 (kg/m ²)	—

[注] (1) ポリマーセメントペースト系塗膜防水材の使用量は、式(1)により換算する。

$$W = G \times T \times 100 / C \quad \cdots \text{式(1)}$$

ここに W：使用量 (kg/m²)

G：硬化塗膜比重

T：平均厚み (硬化後) (mm)

C：全固形分 (%)

なお、表中の平均厚み (硬化後) は、防水材単独の厚みであり、プライマー、補強布の厚みは考慮していない。

(2) 使用するポリマーセメント系塗膜防水材の性状により、上記で算出した総使用量を変えずに、工程数および各工程の使用量を増減することができる。

(3) 平場と立上りは、同一工法とする。

(4) プライマーについては、防水材製造業者の仕様による。

●ネオ・コートPXの基本物性

項 目			規格値 Aタイプ	ネオコート PX A配合	規格値 Bタイプ	ネオコート PX B配合	
引張強さ		N/mm ²	0.6 以上	1.7	1.0 以上	2.5	
破断時の伸び率		%	100 以上	225	30 以上	75	
ゼロスパン テンション 伸び量	標 準		mm	2.0 以上	5.9	1.0 以上	4.0
	劣化 処理後	加熱処理		1.5 以上	3.3	—	—
		アルカリ処理		1.5 以上	3.0	1.0 以上	1.8
付着強さ	標 準		N/mm ²	0.5 以上	0.7	0.7 以上	1.5
	湿潤下地			0.5 以上	0.6	0.7 以上	1.3
	劣化 処理後	加熱処理		0.5 以上	0.6	—	—
		アルカリ処理		0.5 以上	1.0	0.7 以上	1.4
		浸水処理		0.5 以上	1.0	0.7 以上	1.4
透水性			透水量0.5g以下かつ、 漏水がないこと	合格	透水量0.5g以下かつ、 漏水がないこと	合格	

ネオ・コートPX防水工法

基本配合

PXプライマー			
重量比	ネオ・コートPX	混和液	水
	①		⑮
		+	
	1缶		270kg

A 配合			
重量比	ネオ・コートPX	混和液	ネオ・コートPX 粉体
	③		②
		+	
	1缶		1袋

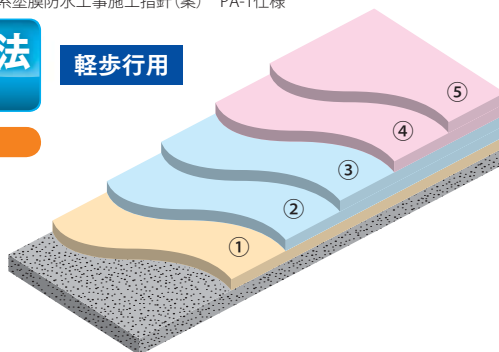
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-1仕様

PXA-16T工法 (露出防水仕様)

軽歩行用

用途

●ベランダ ●ひさし



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
⑤PXトップコート(上塗り)	0.6			0.60 ③	
④PXトップコート(下塗り)	0.6			0.60 ③	
③A配合(上塗り)	0.8	0.48 ③	0.32 ②		
②A配合(下塗り)	0.8	0.48 ③	0.32 ②		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑮
合計	3.1	0.97875	0.64	1.20	0.28125

●●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。
*トップコートは十分に攪拌し、薄めず、原液のまま使用ください。

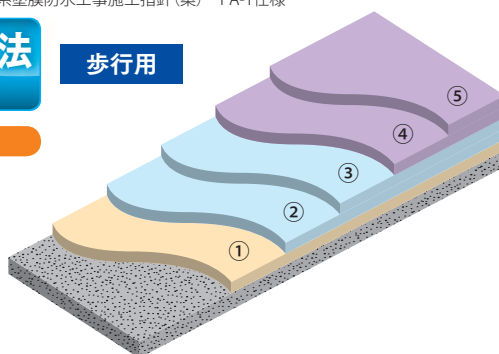
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-1仕様

PXA-16H工法 (露出防水仕様)

歩行用

用途

●ベランダ ●ひさし



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
⑤PXハードトップ(上塗り)	0.6			0.60 ③	
④PXハードトップ(下塗り)	0.6			0.60 ③	
③A配合(上塗り)	0.8	0.48 ③	0.32 ②		
②A配合(下塗り)	0.8	0.48 ③	0.32 ②		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑮
合計	3.1	0.97875	0.64	1.20	0.28125

●●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。
*トップコートは十分に攪拌し、薄めず、原液のまま使用ください。

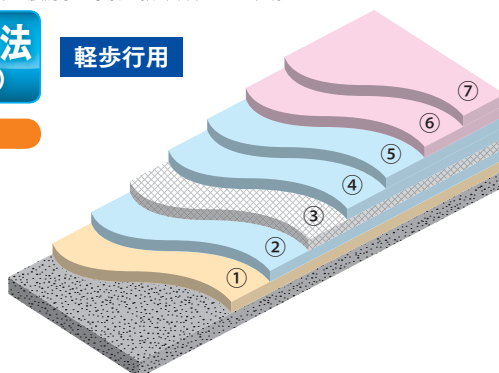
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-2仕様

PXA-C21T工法 (露出防水補強仕様)

軽歩行用

用途

●ベランダ ●ひさし
●開放廊下(軽歩行用)



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
⑦PXトップコート(上塗り)	0.6			0.60 ③	
⑥PXトップコート(下塗り)	0.6			0.60 ③	
⑤A配合(上塗り)	0.9	0.54 ③	0.36 ②		
④A配合(中塗り)	0.6	0.36 ③	0.24 ②		
③PXメッシュ	—				
②A配合(下塗り)	0.6	0.36 ③	0.24 ②		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑮
合計	3.6	1.2785	0.84	1.20	0.28125

●●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。
*トップコートは十分に攪拌し、薄めず、原液のまま使用ください。

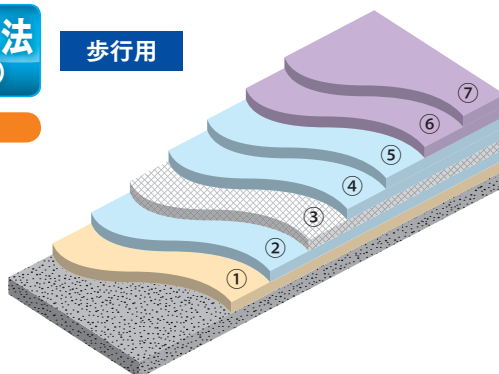
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-2仕様

PXA-C21H工法 (露出防水補強仕様)

歩行用

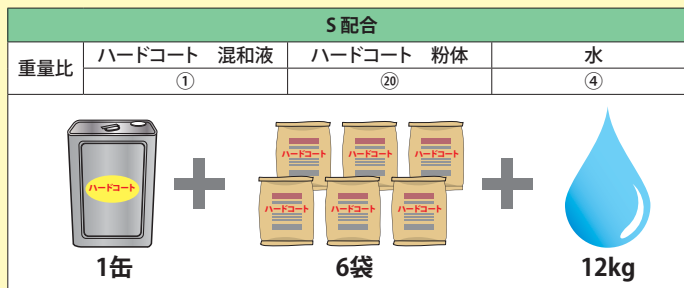
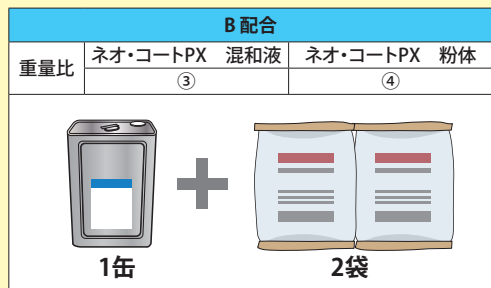
用途

●ベランダ ●ひさし
●開放廊下(歩行用)



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
⑦PXハードトップ(上塗り)	0.6			0.60 ③	
⑥PXハードトップ(下塗り)	0.6			0.60 ③	
⑤A配合(上塗り)	0.9	0.54 ③	0.36 ②		
④A配合(中塗り)	0.6	0.36 ③	0.24 ②		
③PXメッシュ	—				
②A配合(下塗り)	0.6	0.36 ③	0.24 ②		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑮
合計	3.6	1.2785	0.84	1.20	0.28125

●●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。
*トップコートは十分に攪拌し、薄めず、原液のまま使用ください。



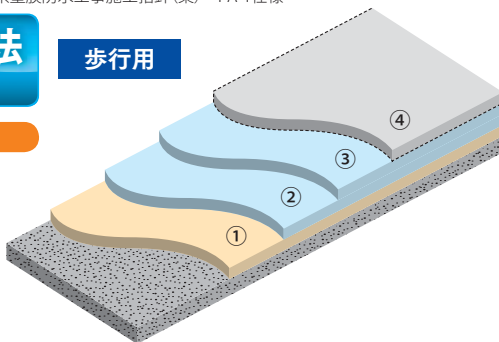
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-1仕様

PXA-16P工法 (押さえ防水仕様)

歩行用

用途

- ベランダ
- ひさし
- 開放廊下(歩行用)
- サッシ回り



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
④保護モルタル(別途)	—	—			
③A配合(上塗り)	1.6	0.8	0.48 ③	0.32 ②	
②A配合(下塗り)		0.8	0.48 ③	0.32 ②	
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑤
合計	1.9	0.97875	0.64		0.28125

●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。

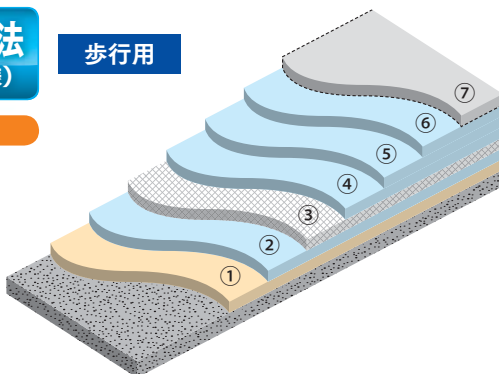
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PA-3仕様

PXA-C30P工法 (押さえ防水補強仕様)

歩行用

用途

- ベランダ
- 開放廊下(歩行用)
- 浴室(小規模)
- 厨房
- トイレ



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
⑦保護モルタル(別途)	—	—			
⑥A配合(上塗り)	0.9	0.54 ③	0.36 ②		
⑤A配合(中塗り)		0.54 ③	0.36 ②		
④A配合(下塗り)	3.0	0.6	0.36 ③	0.24 ②	
③PXメッシュ	—	—			
②A配合(下塗り)	0.6	0.36 ③	0.24 ②		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑤
合計	3.3	1.81875	1.20		0.28125

●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。

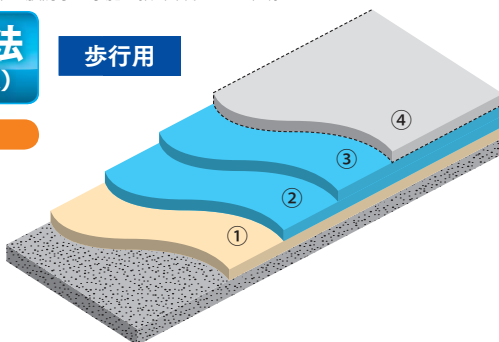
日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PB-1仕様

PXB-32P工法 (押さえ防水こて仕様)

歩行用

用途

- 開放廊下(歩行用)
- ベランダ



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)			
		混和液	粉体	トップコート	水
④保護モルタル(別途)	—	—			
③B配合(上塗り)	3.2	1.6	0.685 ③	0.915 ④	
②B配合(下塗り)		1.6	0.685 ③	0.915 ④	
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①			0.28125 ⑤
合計	3.5	1.38875	1.830		0.28125

●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。

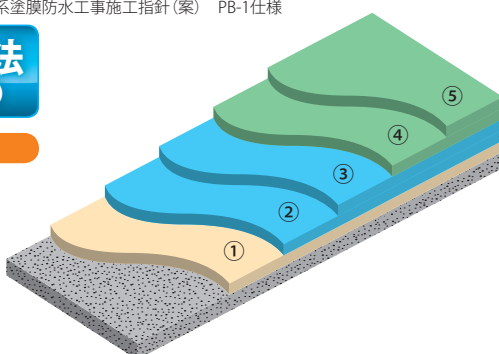
※B配合の配合量は小数点以下第4位にて四捨五入を行っています。材料積算時は塗布量と配合比率(重量比)を用いて算出を行って下さい。

日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案) PB-1仕様

PXB-32S工法 (露出防水特殊仕様)

用途

- 貯水槽
- 受水槽
- 地下外壁



工程	標準塗布量 (kg/m ²)	配合量 (kg/m ²)				
		混和液	粉体	ハードコート 混和液	ハードコート 粉体	水
⑤S配合(上塗り)	1.9	0.95		0.038 ①	0.760 ②	0.152 ④
④S配合(下塗り)		0.95		0.038 ①	0.760 ②	0.152 ④
③B配合(上塗り)	3.2	1.6	0.685 ③	0.915 ④		
②B配合(下塗り)		1.6	0.685 ③	0.915 ④		
①PXプライマー	0.3	0.01875 ①				0.28125 ⑤
合計	5.4	1.38875	1.830	0.076	1.520	0.58525

●●●内の数字は各々の配合比率(重量比)を表す。

※B配合の配合量は小数点以下第4位にて四捨五入を行っています。材料積算時は塗布量と配合比率(重量比)を用いて算出を行って下さい。

製品一覧

※荷姿は予告なく変更する場合がございます。

防水材



■ ネオ・コートPX 混和液

用途: PXプライマー、A配合、B配合
内容: エチレン酢酸ビニル共重合体樹脂
規格: 18kg/缶
色調: 乳白色



■ ハードコート 混和液

用途: S配合
内容: 変性エチレン酢酸ビニル共重合体樹脂
規格: 3kg/缶
色調: 乳白色



■ ネオ・コートPX 粉体

用途: A配合、B配合
内容: セメント系特殊フィラー
規格: 12kg/袋
備考: 防湿紙袋入り



■ ハードコート 粉体

用途: S配合
内容: 特殊セメント系調合骨材
規格: 10kg/袋
備考: 防湿紙袋入り

補強布



■ PXメッシュ

用途: PXメッシュ張り
内容: ガラスクロス(不織布積層タイプ)
規格: 厚0.18mm×幅1020mm×長100m

仕上塗料



■ PXトップコート

用途: ネオ・コートPXトップコート材
内容: 骨材入りエチレン酢酸ビニル共重合体樹脂
規格: 18kg/缶
色調: ライトグレー、グレー、グリーン



■ PXハードトップ

用途: PXハードトップ材
内容: 骨材入りアクリルスチレン共重合体樹脂
規格: 20kg/缶
色調: ライトグレー、グレー、グリーン

荷姿・必要量

	品名	成分	規格	m ² 当たり使用量 (kg/m ²)	1缶(袋)当り塗工面積 (m ²) ※概算として	用途
防水材	ネオ・コートPX 混和液	エチレン酢酸ビニル共重合体樹脂	18kg/缶	0.01875	960.0	PXプライマー
				0.96	18.75	A配合 (1.6kg/m ² 塗布)
				1.26	14.28	A配合 (2.1kg/m ² 塗布)
				1.80	10.00	A配合 (3.0kg/m ² 塗布)
	ハードコート 混和液	変性エチレン酢酸ビニル共重合体樹脂	3kg/缶	1.38	13.12	B配合 (3.2kg/m ² 塗布)
				0.076	39.47	S配合 (1.9kg/m ² 塗布)
				0.64	18.75	A配合 (1.6kg/m ² 塗布)
				0.84	14.28	A配合 (2.1kg/m ² 塗布)
	ネオ・コートPX 粉体	セメント系特殊フィラー	12kg/袋	1.20	10.00	A配合 (3.0kg/m ² 塗布)
				1.83	6.56	B配合 (3.2kg/m ² 塗布)
	ハードコート 粉体	特殊セメント系調合骨材	10kg/袋	1.52	6.57	S配合 (1.85kg/m ² 塗布)
補強布	PXメッシュ	ガラスクロス(不織布積層タイプ)	厚0.18mm×幅1020mm×長100m	—	104.0	PXメッシュ張り
仕上塗料	PXトップコート	骨材入りエチレン酢酸ビニル共重合体樹脂	18kg/缶	1.20	15.00	ネオ・コートPX トップコート材
	PXハードトップ	骨材入りアクリルスチレン共重合体樹脂	20kg/缶	1.20	16.66	PXハードトップ材

※m²当りの使用量は希釈水を含まない製品のみでの必要重量になります。

※m²当りの使用量、1缶(袋)当り塗工面積は概算の数値となります。詳細な数量積算が必要な場合は塗布量と配合比率(重量比)を用いて算出を行って下さい。

工法の使用材料

				PXA-16T 工法	PXA-16H 工法	PXA-C21T 工法	PXA-C21H 工法	PXA-16P 工法	PXA-C30P 工法	PXB-32P 工法	PXB-32S 工法
防水材	混和液	ネオ・コートPX	用途	プライマー(水希釈)	○	○	○	○	○	○	○
				A配合	○	○	○	○	○		
		B配合							○	○	
		メッシュ張り				○	○	○			
	ハードコート	混和液	S配合							○	
			ネオ・コートPX	粉体	○	○	○	○	○	○	
粉体		ハードコート	粉体							○	
補強布		PXメッシュ				○	○	○			
仕上塗料		PXトップコート		○		○					
別途		PXハードトップ			○		○				
		保護モルタル(別途)						○	○	○	

- ⚠ 危険** 取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定され、かつ損害・危険の可能性が高い場合。
- ⚠ 警告** 取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定される場合。
- ⚠ 注意** 取り扱いを誤ったときに、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 注意 設計上の注意事項(防水業者とご相談ください)

- 防水以外の目的で使用される場合は、使用目的を事前に防水業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
- 下地(デッキプレート、PCa、コンクリート等)の動きにより防水層にクラックやひび割れが入る場合がありますので、事前に構造等について防水業者とよく打ち合わせて仕様を決定してください。
- 出入隅の形状は、入隅は通りよく直角、出隅は面取りで仕上げてください。
- 貫通パイプ・ドレン等は、堅固に取り付け、下地と一体化させてください。
- 下地は、コンクリートあるいはモルタル下地(金コテ仕上)とし、平滑で浮き・突起物などの欠損、エフロレッセンスのないようにしてください。新設の場合は、1ヶ月以上乾燥養生してください(下地は鏡面仕上にしないでください)。十分な接着力が得られない恐れがあります。
- 下地の勾配は、1/100～1/50にしてください。

⚠ 施工上の注意事項(事前に施工仕様書・各材料説明書・SDS等をお読みください)

【天候について】

注意 強風、降雨、降雪時または降雨、降雪が予想される場合や降雨・降雪後下地が未乾燥の場合は、施工を中止してください。

注意 外気温が5℃以下の場合は中止してください。

【下地について】

注意 下地のクラックは、VカットしてB配合を塗布し、A配合で補強塗りを行ってください。

注意 下地の凸部や突起物は、サンダー等を用いて平滑にしてください。

注意 下地のへこみなどは、ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペーストを用いて平滑にしてください。

注意 レイタンスや表面強度のない下地は、サンダー・ケレン棒を用いて削り、強固な下地を出すか、下地調整材を用いて強固な下地を作ってください。

【作業環境について】

警告 施工場所や材料保管場所の周囲では火気を使用しないでください。

警告 室内の施工においては、十分換気に注意してください。換気の悪い場所では、有機溶剤用防毒マスク等を着用して適切に換気処置を取ってください。

警告 混合・攪拌する際は、保護マスクを着用し、皮膚に付かないように保護手袋や、眼に入らないように保護眼鏡を着用してください。

注意 施工場所は関係者以外の立入りを禁止してください。

【施工上の注意】

危険 墜落防止のために工事現場周辺には安全柵を設けてください。

警告 傾斜地では滑落の危険があります。足場を確保したうえで、安全帯などを着用してください。

警告 容器の取っ手は手さげ専用です。荷揚げする場合は、耐荷重のある運搬用ネット(もっこ)を使用してください。ロープ掛けで運搬、荷揚げは崩れ、落下の危険があり厳禁です。」

⚠ 取扱い上の注意事項

【法令の注意事項】

注意 製品は消防法、労働安全衛生法、化学物質の審査および製造等の規制に関する法律の規制を受けますのでこれらを理解し、安全に作業を行ってください。

【製品使用上の注意事項】

警告 製品を取扱う前に製品カタログ、安全データシート(SDS)等をよく読んで理解してから使用してください。

警告 防水用途以外の仕様では使用しないでください。また飲料水、食品と直接触れるような使用はしないでください。

警告 接着剤、塗料などを含む廃材を、河川、湖沼、海などへ廃棄しないでください。また中身を残したままの廃棄や火中への投棄はしないでください。漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあります。

注意 液がこぼれた場合は、ウエスで拭き取るか、砂等で流出しないように吸い込ませ除去してください。

注意 2液タイプの製品は、定められた混合比率を守ってください。他の製品と混合しての使用は接着不良等の不具合が生じるおそれがあります。

注意 製品を小分けして使用する場合は、事前に良く攪拌混合してください。製品が分離していると期待の性能が得られない恐れがあります。

注意 取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。付着物により健康を損なう恐れがあります。

注意 作業着に付着した場合は、その汚れを落としてください。

注意 使用後の空き缶の潰し作業はあらかじめ養生してから行ってください。

【事故防止の注意事項】

警告 火気厳禁とし、火気を近づけたり火気のある場所で使用しないでください。火災事故が発生する恐れがあります。

警告 取扱う場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。

警告 取扱い中は、適切な保護具(防毒マスク、ホースラインマスク、メガネ、手袋等)を着用して作業を行ってください。着用しないと負傷の恐れがあります。

【応急措置】

注意 眼に入った場合は、速やかに流水で15分間以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。

注意 皮膚に付着した場合は、大量の水と石鹸で洗い流し、また大量の蒸気を吸入した場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。

注意 飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診断を受けてください。尚、無理に吐かせないでください。

注意 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

【廃棄方法】

注意 使用済みの空き缶、材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。

【保管方法】

警告 消防法上の危険物は、法に従って保管してください。

注意 危険物の保管には、数量により貯蔵の届け出、許可等の手続きが必要な場合があります。

注意 一定場所を定め、直射日光、雨の当たらないように保管してください。また部外者が出入りできない場所に、密閉して保管してください。

⚠ 防水層利用上の注意事項

警告 防水層の表面が濡れている時は、滑りやすいので十分に注意してください。足を滑らして転倒・負傷する恐れがあります。

警告 粗面仕上げにしている場合は、つまずく恐れがありますので走らずに歩行には十分に注意してください。

警告 防水層の上や付近では、花火や焚き火を使用しないでください。火災事故が発生する恐れがあります。

注意 防水層の上に油・酸等の腐食性の液体や、化学薬品・ガソリン・灯油・塗料・溶剤・肥料等をこぼさないでください。またダクトや煙突からのミスト、油煙等の混じった排気のないようにしてください。防水層が変色・膨潤・劣化して防水機能を損なう恐れがあります。

注意 防水層の上には、運搬作業や設計時に予定した以外の重量物は置かないでください。重量物による防水層の変形や損傷の恐れがあります。

注意 防水層の上に重量物やテーブル、椅子等を置いたりスノコ等を敷く場合は、接地部にゴム板などで保護・養生してください。ゴム板等で養生しないと、防水層に損傷を与える恐れがあります。

注意 防水層の上で作業する場合は、ベニヤ板等で養生してください。カッターナイフ等の使用は、防水層に損傷を与える恐れがあります。

注意 防水層を新たに貫通させるような作業・機械機器の設置は、行わないでください。防水層に穴が開き、漏水する恐れがあります。釘やビス打ち等の打ち込み作業は行わないでください。

注意 防水層の上での植栽は行わないでください。排水溝を詰まらせたり植物の根によって防水層を損傷させる場合があります。

注意 防水層の上で激しい運動やゴルフの練習・自転車・一輪車等の運転をしないでください。タイヤや靴底のカートの荷重によって、防水層に損傷を与える恐れがあります。

注意 防水層の上では、ペットの飼育をしないでください。動物の爪や歯で防水層に傷をつけ、排泄物が防水層を劣化させる恐れがあります。

⚠ 維持管理上の注意事項

注意 6ヶ月毎に屋根や防水層面の清掃を行ってください。特に排水口周りや入隅部分の泥や枯れ葉等を除去してください。排水不良を生じ、漏水する恐れがあります。

注意 定期的に次のような点検を行ってください。異常が認められた場合は施工業者に連絡し補修を行ってください。場合によっては、防水機能が失われる恐れがあります。

- 1) 仕上塗料が剥離している。
- 2) メッシュが表面にでている。
- 3) 防水層が破れや貫通穴がある。
- 4) 押え金物、笠木などの取付けが緩んでいる。

注意 防水層の洗浄液には、家庭用中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させる恐れがあります。

注意 防水層の洗浄には、金属ブラシや金属タワシは使用しないでください。防水層に傷がついたり損傷する恐れがあります。柔らかい布や雑巾で清掃し、十分に乾燥してください。

注意 防水層に損傷を与えた場合や、防水工事部分から雨漏りが発生した場合は、速やかに施工業者に連絡ください。

注意 仕上げ塗料は、防水層の劣化を抑制し美観の維持・向上に効果があります。劣化状態に応じて有償で仕上げ塗料の塗り替えを行ってください。



三ツ星ベルト株式会社 建設資材本部

www.mitsuboshi.com

神戸本社	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5770 FAX(078)685-5789
東部建築課(東京)	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526
東部建築課(名古屋)	〒485-0077	小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) ☎(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601
西部建築課(神戸)	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5791 FAX(078)685-5789
西部建築課(広島)	〒738-0004	広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294
西部建築課(四国)	〒769-2401	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3189 FAX(0879)42-2295
西部建築課(福岡)	〒812-0888	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4453 FAX(092)451-7186
札幌営業所	〒062-0902	札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号 ☎(011)841-9131 FAX(011)812-9370

- ①最新のカatalogかどうか、お確かめください。
- ②ご不明の点がありましたら、上記までお問合せください。
- ③お断りなく、記載内容を変更する場合があります。
- ④本カatalogの一部または全部を複写、複製、改変することは形態を問わず禁じます。